

《出演アーティスト／プロフィール・2》

●アンドレス・リネツキー タンゴ 楽団 (Orquesta de Tango Andres Linetzky)

ブエノスアイレスの人気楽団“バーレ・タンゴ (Vale Tango)”のピアノ兼リーダーを務めるアンドレス・リネツキー、第1バンドネオン奏者ニコラス・カブシツキ、第1バイオリン奏者アレハンドロ・シャイキスの3名が、日本タンゴ界で活躍を続ける演奏家精鋭3名を迎えてセステート（六重奏団）を結成。ア日混合バンドによるバトルなタンゴ世界を本場ブエノスアイレスのトップダンサー、シンガーとともにスリリングに繰り広げる。

東京公演では、日本のタンゴダンス界を代表する9組のトップダンサーに加え、バイオリンの川井郁子が特別出演、さらにタンゴダンスに魅入られた川井郁子によるタンゴダンスも初披露、というファン必見のステージ！



ニコラス・カブシツキ (バンドネオン)



アンドレス・リネツキー (ピアノ、音楽Director)



アレハンドロ・シャイキス (バイオリン)



鈴木 崇朗 (バンドネオン)



会田 桃子 (バイオリン)



東谷 健司 (コントラバス)

●アンドレス・リネツキー (Music director, Piano, Arrangement)

1974年生まれ。アベジャネーダ音楽学院にてクラシック、タンゴ、ジャズ、作曲法を学ぶ。巨匠オラシオ・サルガン、カルロス・ガルシアらに師事。カルロス・ガルシア＝ラウル・ガレーロ指揮の名門、市立ブエノスアイレス・タンゴオーケストラのピアニストとして抜擢され注目を集める。独自のタンゴ奏法、解釈、優れたセンスと高い技術が高く評価されているタンゴ界の未来を担うホープの一人。

1999年に“バーレ・タンゴ (Vale Tango)”を結成してからは海外での活動にも力を入れており、現在まですでに9枚のアルバムを発表しグループ・リーダー、アレンジャーとして確固たる地位と人気を築いている。

Special Guest ●川井郁子 (Violin, Dance)



国内外の主要オーケストラをはじめ、指揮者チョン・ミョンフンやテノール歌手ホセ・カレーラスなどの世界的音楽家と共演。またジプシー・キングス、バレエ・ダンサーのファルフ・ルジマトフ、熊川哲也、フィギュアスケートの荒川静香らとも共演。2008年アメリカデビュー。2013年、映画「北のカナリアたち」で第36回日本アカデミー賞最優秀音楽賞を受賞。社会的活動として「川井郁子 Mother Hand 基金」を設立。国連 UNHCR 協会国連難民親善アーティスト、日本ユネスコ国内委員会委員を務める。

●パウラ・カスティニョーラ (Singer)



イタリア歌曲のシンガーとしてスタートしその才能を開花。2005年、イタリアの世界歌謡祭“サンレモ歌謡祭り”に出場、ファイナリストに選出される。その後タンゴに惹かれ、タンゴ歌手としても本格的に活動を開始。“キルメス・タンゴフェス2010”では、詩人オラシオ・フェレールと共演し、喝采を浴びる。2013年、待望のファースト・アルバムを録音。キャリア豊富な美貌の実力派シンガー。初来日。